

◎ 団体・事業所名

社団法人 泉佐野泉南医師会

1 事業名

泉佐野泉南医師会圏域「医療と介護・多職種連携」事業

2 事業期間

平成 24 年 10 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日

3 執行体制

(事業主体のほか、事業への参画機関、協力団体なども記載してください。)

事業主体・・・社団法人泉佐野泉南医師会

参画機関、協力団体・・・泉佐野泉南歯科医師会、泉佐野薬剤師会、泉南薬剤師会、りんくう総合医療センター、永山病院、6市町ケアマネジャー合同連絡会、訪問看護ステーションさくら総合医療、泉佐野社協地域包括支援センター、大阪府泉佐野保健所、泉南市高齢障害介護課

4 事業の実施状況

(計画内容の実施状況を記載してください)

○平成 24 年度泉佐野泉南医師会圏域医療と介護・多職種連携事業実施要領（以下「実施要領」という。）及び平成 24 年度泉佐野泉南医師会圏域医療と介護・多職種連携ネットワーク連絡会設置要領（以下「設置要領」という。）を制定し、実施要領に基づき「地域連携室」を設置、また設置要領に基づき、泉佐野薬剤師会、泉南薬剤師会、りんくう総合医療センター、永山病院、6市町ケアマネジャー合同連絡会、訪問看護ステーションさくら総合医療、泉佐野社協地域包括支援センター、大阪府泉佐野保健所、泉南市高齢障害介護課に参加依頼し了承を得、泉佐野泉南医師会圏域医療と介護・多職種連携ネットワーク連絡会（以下「連絡会」という。）を設置した。

○具体的な事業内容は、医療と介護・多職種連携を推進役の連絡会メンバーが理解するための研修会を開催。また、5 回の連絡会を開催し、主に、医療と介護・多職種連携を推進するに当たり、調整や解決すべき課題を抽出するための「在宅医療円滑化ネットワーク事業『医療と介護・多職種連携に関するアンケート調査』」の内容を協議検討し、1 月上旬から中旬にかけてアンケート調査を実施した。

・実施要領及び設置要領を制定。（平成 24 年 10 月 1 日）

・地域連携室設置（平成 24 年 10 月 1 日）

※地域連携室の役割について

医師会事務所に設けるのではなく、その調整を行うところとする。3 市 3 町の広

域にわたる三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）・病院・地域包括支援センター・行政（3市3町、保健所）及び多職種の連携に関する調整を行い、医療と介護・多職種連携実現への推進役を担う。

- ・ 泉佐野泉南医師会圏域医療と介護・多職種連携ネットワーク連絡会開催（計5回）
  - 第1回（平成24年10月20日）
  - 第2回（平成24年11月10日）
  - 第3回（平成24年12月13日）
  - 第4回（平成25年1月24日）
  - 第5回（平成25年2月28日）
- ・ 泉佐野泉南医師会圏域医療と介護・多職種連携ネットワーク連絡会研修会開催（平成24年12月13日）
  - ① 講演 大阪府医師会理事 中尾正俊先生  
「医療円滑化ネットワークにおける多職種の役割」
  - ② グループワーク
- ・ 在宅医療円滑化ネットワーク事業「医療と介護・多職種連携に関するアンケート調査」を実施（平成25年1月7日～平成25年1月19日）

## 5 事業の実績

（事業の成果となる具体的な事例などを記載してください。）

- ・ 連絡会研修会で大阪府医師会 中尾理事の講演で在宅医療・多職種連携の重要性を再認識できた。また、その後のグループワークで、具体的な事例によりどういう連携ができるかを話し合った。
  - 1. 基調講演 「在宅医療円滑化ネットワークにおける多職種の役割」  
大阪府医師会 理事 中尾 正俊 先生
  - 2. グループワーク 「自分たちができる連携は・・・」
- ・ 5回の連絡会で、職種別の「在宅医療円滑化ネットワーク事業『医療と介護・多職種連携に関するアンケート調査票』」を作成。
  - ① 医師（診療所） ② 歯科医師 ③ 薬剤師 ④ 病院（MSW） ⑤ ケアマネジャー
  - ⑥ 訪問看護ステーション ⑦ 地域包括支援センター ⑧ 行政（保健所含む）
- ・ アンケート調査から、
  - ① 医療系（医師、歯科医師、薬剤師、病院）同士の連携があまり進んでいない。
  - ② 医療系と介護系は、他の職種にくらべ連携が進んでいるという結果が出ている。
  - ③ 在宅医療（ケア）の推進には、「時間的制限」「マンパワーの不足」「後方支援の不足」「連携先の情報不足」などの阻害要因があることがわかった。
- ・ 連絡会を開催していく中で多職種との「顔の見える関係」を築くことができた。同時にどの職種においても、他の職種との連携が必要であることがお互いに認識できた。

## 6 事業の効果

(事業実施による他職種、他地域に対する波及効果や在宅医療推進への効果などを記載してください。)

本医師会は、3市3町(泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町)の広域にまたがっている関係から連携において十分機能が発揮しているとは言えない状況にあったものの、多職種連携への動きが出ている。

○3市3町(保健所含む)の行政の連携会議が始まった。

○熊取町で「医療・介護多職種連携ネットワーク」が発足。

泉南市においても平成25年度に発足する予定。

※アンケートを実施した結果から、各職種の置かれている状況等の課題が把握できたため、その課題の解決等について、立場を超えて協議検討していくことが重要であることがわかった。

## 7 今後の事業展開

(事業実施にあたり障害となった具体的な内容、改善点、次年度以降の計画、取組みなどを記載してください。)

### 【事業実施にあたり障害となった具体的な内容】

1. 事業実施の期間が短かった(6か月)。
2. 委託料(アンケート実施)が認められず、非常に事務量(アンケートの作成から分析まで)が増大した。

### 【次年度以降の計画、取組み】

平成25年度以降(～平成26年度)は、行政(幹事:泉南市)において、多職種連携を推進していく予定。

- ・行政(3市3町:幹事市、泉南市)で(仮称)医療と介護・多職種連携ネットワーク連絡会に係る要綱等を制定し、実施する。
- ・行政による多職種が連携しやすいような情報が記載されている医師会圏域のマップ(冊子)の作成を予定しており、その情報を各他職種のホームページにアップするよう働きかける。
- ・H25年度本医師会(熊取町)で、本モデル事業の計画を予定。

## 8 地域連携室の設置状況と成果

(地域医師会内の設置状況と波及効果などを記載してください。)

- ・地域連携室設置 (平成24年10月1日)

※地域連携室の役割について

医師会事務所に設けるのではなく、その調整を行うところとする。3市3町の広域にわたる三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)・病院・地域包括支援センター・行政(3

市3町、保健所)及び多職種連携に関する調整を行い、医療と介護・多職種連携実現への推進役を担う。

連携の調整・推進役を行う「地域連携室」の設置は、その役割を十分に発揮し、スムーズな連絡会議や研修会などを開催することができた。

## 9 その他

(補足事項等があれば記載してください。)

〈事業添付資料〉

1. 事業報告(目的と背景)
2. 連絡会研修会進行表
3. 連絡会研修会次第
4. 事例研究フェイスシート
5. グループワーク事例まとめ
6. 研修会アンケート
7. 研修会のアンケート集計
8. 医療と介護・多職種連携アンケート結果(概要版)
9. 医療と介護・多職種連携アンケート(医師用)
10. 医療と介護・多職種連携アンケート(歯科医師用)
11. 医療と介護・多職種連携アンケート(薬剤師用)
12. 医療と介護・多職種連携アンケート(病院用)
13. 医療と介護・多職種連携アンケート(ケアマネ用)
14. 医療と介護・多職種連携アンケート(訪問看護用)
15. 医療と介護・多職種連携アンケート(包括用)
16. 医療と介護・多職種連携アンケート(行政用)